

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 15 日(2024.8.15)

【公開番号】特開 2023-74805(P2023-74805A)
【公開日】令和 5 年 5 月 30 日(2023.5.30)
【年通号数】公開公報(特許)2023-099
【出願番号】特願 2021-187939(P2021-187939)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 3 B

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 0 3 D

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 6 日(2024.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出音可能な出音手段と、

前記出音手段を制御する演出制御手段と、

遊技者による操作に応じて前記出音手段における音量を設定可能な音量設定手段と、

所定のログイン操作を行うことで、ログイン状態を設定可能なログイン手段と、

所定のログアウト操作を行うことで、前記ログイン状態を終了可能なログアウト手段と、
を備え、

30

前記音量設定手段は、少なくとも第 1 種別の音の音量と、第 2 種別の音の音量をそれぞれ
設定可能であり、

前記ログイン状態において遊技者が初期音量と異なる所定の音量を設定した状態で、前記
所定のログアウト操作が行われた場合、前記ログイン状態の終了後においても前記所定の
音量が維持される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来からガイドメニュー画面を表示装置に表示させて、左右キーなどの入力部を操作す
ることで音量や光量を所望の量に設定することが可能な遊技機が知られている(例えば、
特許文献 1 参照)。特許文献 1 に記載されたような遊技機によれば、遊技者が好みの音量
や光量などの演出環境を設定できるというメリットがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2008-295551号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところで、特許文献1に記載されているような演出環境を設定できる遊技機では、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることが望まれている。 10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることを目的とする。 20

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

出音可能な出音手段と、（例えば、スピーカ35a, 35b）と、
前記出音手段を制御する演出制御手段（例えば、副制御回路200）と、
遊技者による操作に応じて前記出音手段における音量を設定可能な音量設定手段（例えば、音量を設定するサブCPU201）と、
所定のログイン操作（例えば、遊技者の端末を利用し、遊技者に演出表示部上に表示される二次元コードを読み取らせる）を行うことで、ログイン状態（例えば、ユニメモのログイン状態）を設定可能なログイン手段（例えば、「ユニメモ」のログインを行うサブCPU201）と、
所定のログアウト操作（例えば、遊技者の端末を利用し、遊技者に演出表示部上に表示される二次元コードを読み取らせる）を行うことで、前記ログイン状態を終了可能なログアウト手段（例えば、「ユニメモ」のログアウトを行うサブCPU201）と、
を備え、
前記音量設定手段は、少なくとも第1種別の音（例えば、BGM）の音量と、第2種別の音（例えば、SE）の音量をそれぞれ設定可能であり、
前記ログイン状態において遊技者が初期音量と異なる所定の音量を設定した状態で、前記所定のログアウト操作が行われた場合、前記ログイン状態の終了後においても前記所定の音量が維持される 30 40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成によれば、演出環境の設定に関して遊技者の利便性を高めることができる。 50